

## 第2回 日本スポーツ体育健康科学学術連合大会 企画

### 基調報告テーマ

「ユネスコ主催スポーツ大臣会合（MINEPS VI）と日本の国際スポーツ戦略」（仮）

講師 今泉柔剛 氏（スポーツ庁国際課長）

### 趣旨

ユネスコ主催のスポーツ大臣会合は4年ごとに開催され、2017年7月にロシアのカザンで第6回スポーツ大臣会合（MINEPS VI）が開催される。前回2013年にベルリンで開催されたMINEPS Vでは、その決議を受けて旧国際体育・スポーツ憲章が全面改定され「国際体育・身体活動・スポーツ憲章」（2015）が制定されるなど、MINEPSは国際社会に大きな影響力をもっている。スポーツ庁はユネスコとの関係強化を進め、日本が国際社会において積極的な役割を果たすべく、ユネスコの「体育・スポーツ政府間委員会」（CIGEPS）の委員国に名乗りを上げている。

MINEPS VIでは、次の3テーマが設定されている。テーマ1「全ての人々が分け隔てなくアクセスする包括的なビジョンを発展させること（Developing a comprehensive vision of inclusive access for all）」、テーマ2「スポーツが持続可能な開発と平和に貢献することを最大化すること（Maximizing the contributions of sport to sustainable development and peace）」、テーマ3「スポーツの高潔性を保護すること（Protecting the integrity of sport）」。

本報告では、日本の国際スポーツ戦略をリードしているスポーツ庁国際課から今泉柔剛氏（課長）を招き、MINEPS VIに出席して得た最新の国際動向およびこれを踏まえた今後の日本の国際スポーツ戦略について講演をしていただく。MINEPS VIにおいては、国連の持続可能な開発目標(SDG's)にも関連し、ユネスコと ICSSPE（国際体育・スポーツ科学評議会）が運営しながらスポーツ・体育・健康関連の国際機関が関与して議論を積み重ねたスポーツ政策に資する方針が示される。したがって、体育・スポーツ科学系研究者にとって不可欠な、各国の担当大臣が議論した最先端の動向を知る機会となる。これまで国内の学術団体を対象にした同種の情報共有はなされてこなかったことから、本学術連合の研究者らがこれらの情報を広く共有し、意見交換を行うことは極めて有意義である。